

平成29年度名古屋大学大学院工学研究科博士課程（前期課程）
機械理工学専攻（電子機械工学分野）

受験に際しての注意事項

出願者は「学生募集要項」を必ず熟読し、さらに以下の点について注意してください。

(1) 出願について

入学者の選抜は「一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）」により行います。学生募集要項を熟読の上、出願してください。

(2) 第2志望専攻（分野）について

第2志望専攻（分野）としてマイクロ・ナノシステム工学専攻を志望することができます。

(3) 筆記試験について

試験科目は以下の通りです。実施方法、日程については学生募集要項「6. 選抜実施方法及び試験日程」を参照してください。

1) 外国語

英語：筆記試験は実施しません。提出された TOEFL (Test of English as a Foreign Language) または TOEIC (Test of English for International Communication) のスコアに基づいて成績を評価します（次項（4）を参照）。

スコアシートを提出しない場合には、外国語（英語）の試験は評価されませんが、出願は可能です。

英語を母語とする出願者は機械理工学専攻の事務室まで問い合わせてください。

2) 基礎部門

数学：微積分，線形代数，常微分方程式，初等ベクトル解析から出題。全問解答する。

物理学：力学（質点の力学，質点系の力学，剛体の運動）1問と電磁気学（静電界，電流と磁界，電磁誘導）1問を出題。2問の中から1問を選択して解答する。

3) 専門部門 下記の4問を出題。3問を選択して解答する。

振動工学，制御工学，電気回路，情報基礎

(4) TOEFL/TOEIC スコアの提出に際しての注意点

得点として有効なスコア：

平成26年6月1日以降に実施され、かつ出願時（平成28年7月11日～14日）にスコアシート（TOEFL の“Official Score Report”あるいは TOEIC の“Official Score Certificate”〈公式認定証〉）が提出可能なテストのスコア。なお、TOEIC については、平成28年5月実施分までのスコアシートのみ受け付けます。

TOEFL については、iBT (Internet-based Test) と PBT (Paper-based Test) のいずれも有効。しかし、団体向け TOEFL テストプログラム (ITP: Institutional Testing Program) のスコアは受け付けません。

TOEIC については、団体特別受験制度 (IP テスト) のスコアは受け付けません。

なお、TOEFL と TOEIC 両方のスコアが提出された場合には換算点の高いものが採用されます。提出可能な TOEFL, TOEIC のスコアシートは各一通のみで、一度提出した後に差し替えできません。

スコア提出方法：

TOEFL の“Official Score Report”については、出願期間最終日（平成28年7月14日）までに届くように余裕をもって送付依頼手続きを行うこと。なお、送付依頼の際に **Institution Code は 0312, Department Code は 68** を指定すること。また、送付依頼したスコアに対応する“Examinee Score Report”のコピーを、出願時（平成28年7月11日～14日）に他の出願書類と併せて提出すること。

TOEIC の“Official Score Certificate”については、原本を出願時（平成28年7月11日～14日）に他の出願書類と併せて提出すること。

提出したスコアシートは返却しません。

筆記試験当日：

TOEFL のスコアに基づいて成績評価を希望した者は、試験期間中“Examinee Score Report”の原本を必ず携帯すること。

※参考

- TOEFL/TOEIC に関する詳細は下記の Web サイトを参照するか、または試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEIC: <http://www.toeic.or.jp/toeic/>

- 英語の成績評価は、すべて TOEFL(PBT)スコアに基づいて行います。TOEFL(iBT) または TOEIC のスコアからの換算は次の方法に依ります。
 - (a) TOEFL(iBT) : TOEFL 公式サイトに示されている換算表
 - (b) TOEIC : $\text{TOEFL(PBT)スコア} = \text{TOEIC スコア} \times 0.348 + 296$

(5) 口頭試問について

- 1) これまで大学で学んだこと及び一般的事項について口頭試問を行います。
- 2) 実施方法、日程については学生募集要項「6. 選抜実施方法及び試験日程」を参照してください。
- 3) 筆記試験終了後に、第1志望専攻での口頭試問の実施時間、会場等について指示します。第2志望専攻での口頭試問はありません。

(6) 講座内容

各講座、研究グループの構成、研究内容等については、ホームページ (<http://www.nuem.nagoya-u.ac.jp/>) あるいは「専攻案内」の機械理工学専攻（電子機械工学分野）の欄を参考にしてください。

(7) その他

- 1) 試験中の携帯電話や電子辞書、IC レコーダー、電卓等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりとしても使用できません。
- 2) 筆記試験では、試験開始後 30 分以上の遅刻は認められません。
- 3) 筆記試験では、試験開始 30 分前には試験会場に入場してください。
- 4) 筆記試験では、早退は一切認められません。

平成29年度名古屋大学大学院工学研究科博士課程（後期課程）
機械理工学専攻（電子機械工学分野）

受験に際しての注意事項

出願者は「学生募集要項」を必ず熟読し、さらに以下の点について注意してください。

(1) 出願について

志願者は出願前に必ず予定指導教員に事前照会してください。

(2) 試験科目について

外国語（英語）および基礎部門の筆記試験は「小論文」に替わることがあります。また、外国語と基礎部門が免除されることもあります。いずれも、予定指導教員に問い合わせてください。

(3) 口頭試問について

1) 前期課程における研究の中間報告、あるいは最近の研究に関する発表。

（発表時間は15分、プロジェクター使用可）

2) 中間報告・発表に関連する試問、および専門分野の基礎学力に関する試問。

注意：口頭試問の日時および場所については、個別に志願者に連絡します。

(4) 講座内容

各講座、研究グループの構成、研究内容等については、ホームページ（<http://www.nuem.nagoya-u.ac.jp/>）あるいは「専攻案内」の機械理工学専攻（電子機械工学分野）の欄を参考にしてください

(5) その他

1) 試験中の携帯電話や電子辞書、ICレコーダー、電卓等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりとしても使用できません。

2) 筆記試験では、試験開始後30分以上の遅刻は認められません。

3) 筆記試験では、試験開始30分前には試験会場に入場してください。

4) 筆記試験では、早退は一切認められません。

平成28年10月入学名古屋大学大学院工学研究科博士課程（後期課程）
機械理工学専攻（電子機械工学分野）

受験に際しての注意事項

出願者は「学生募集要項」を必ず熟読し、さらに以下の点について注意してください。

(1) 出願について

志願者は出願前に必ず予定指導教員に事前照会してください。

(2) 試験科目について

外国語（英語）および基礎部門の筆記試験は「小論文」に替わることがあります。また、外国語と基礎部門が免除されることもあります。いずれも、予定指導教員に問い合わせてください。

(3) 口頭試問について

1) 前期課程における研究の中間報告、あるいは最近の研究に関する発表。

（発表時間は15分、プロジェクター使用可）

2) 中間報告・発表に関連する試問、および専門分野の基礎学力に関する試問。

注意：口頭試問の日時および場所については、個別に志願者に連絡します。

(4) 講座内容

各講座、研究グループの構成、研究内容等については、ホームページ（<http://www.nuem.nagoya-u.ac.jp/>）あるいは「専攻案内」の機械理工学専攻（電子機械工学分野）の欄を参考にしてください

(5) その他

1) 試験中の携帯電話や電子辞書、ICレコーダー、電卓等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりとしても使用できません。

2) 筆記試験では、試験開始後30分以上の遅刻は認められません。

3) 筆記試験では、試験開始30分前には試験会場に入場してください。

4) 筆記試験では、早退は一切認められません。